

&lt;Japan Buy-out Deal Conference in 広島&gt;

# 企業価値向上シンポジウム

## ～製造業の事業再編、事業承継、海外展開における戦略的視点～

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、広島にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業競争力の強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、広島県を中心とする中国地区の企業経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A (mergers & acquisitions) やバイアウトの手法が企業価値向上のための戦略オプションとして認識されつつあります。地方においても、特に、自動車部品、電子部品、金型・精密、プラスチック形成、プリント基板、電機機器、工具・機械、繊維、食品などの製造業の事例が数多く登場しました。具体的には、未上場オーナー企業の事業承継にバイアウト・ファンドが活用された事例、大企業の事業再編にバイアウトの手法が活用された事例、バイアウト・ファンドのネットワークを活用して海外事業を強化した事例、グロース・キャピタル・ファンドより成長資金を調達し設備投資を強化した事例、再生企業がバイアウト・ファンドから資金調達をして抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行い成長・発展を目指す企業の経営者、アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者、後継者問題を抱えるオーナー企業の経営者、業績低迷からの脱却を目指す企業の経営者、戦略的 M&A を検討している企業の経営者などにお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 開催要領

#### 【日時】

2015年3月11日(水) 13:10~17:30 (12:40 受付開始)

#### 【会場】

ホテル JAL シティ広島 (広島市中区上鞆町 7-14) 2階シリウス (JR 広島駅南口より徒歩 5分)

#### 【参加費】

1名 18,000円 (税込)

#### 【参加対象】

- 未上場オーナー企業の経営者、上場企業(子会社を含む)の経営者(経営企画担当、財務担当、海外事業担当、社長室など)
- 地域金融機関(地方銀行、信用金庫など)、大手銀行、証券会社 ■弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

#### 【お申し込み方法】

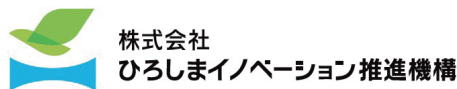
申込書での FAX 送信か Web サイト上 (<http://www.jbo-research.com/>) で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

### Lead sponsors



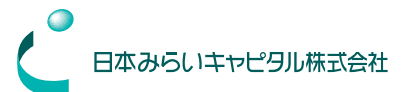
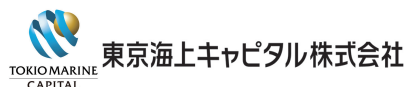
Advantage Partners, LLP

### Co-sponsors



森・濱田松本法律事務所

MORI HAMADA & MATSUMOTO



主催：株式会社日本バイアウト研究所  
 協力：株式会社広島銀行 株式会社中央経済社

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com (担当：杉浦)

# プログラム

受付開始 (12:40)

オープニング・スピーチ (13:10-13:15)

(広島県知事 or 広島県商工労働局を予定)

**基調講演 (13:15-13:55)**

テーマ: 日本の中堅企業の M&A 戦略の最前線

講演者 GCA FAS 株式会社 代表取締役社長 加藤裕康氏

<概要>

日本企業にとって M&A が企業価値向上の一手段として活用されるようになり 15 年近くが経過した。その間、実際に M&A を活用し企業価値向上を実現した企業もあれば、残念ながら大きな減損を計上し株主価値を破壊してしまった企業もある。日本の M&A 市場の歴史を振り返ることで改めて M&A 実行上の留意点を再認識すると同時に、ここ数年間で実施された日本企業による M&A 事例を紹介し、日本企業、とりわけ地方の中堅・中小企業が考える M&A 戦略の最前線について解説する。

**マーケット・レビュー (13:55-14:25)**

テーマ: バイアウトの手法と製造業の案件の動向 ~地方の中堅・中小企業の案件を中心として~

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

製造業(自動車部品、電子部品、金型・精密、プラスチック成形、プリント基板、電機機器、工具・産業機械、繊維、食品)を中心としたバイアウト案件の動向について解説する。特に、中国や東南アジアを中心とする海外事業の強化が実施された案件、オーナー企業の事業承継や資本再構築を伴う案件、大企業の事業再編による子会社・事業部門の独立を伴う案件を、具体的な事例を交えて説明する。

休憩 (14:25-14:35)

**事例紹介①インタビュー・セッション (14:35-15:10)**

テーマ: 大企業子会社から中長期的に発展可能な中堅独立企業への変革

~海外工場を駆使してデジタルカメラの開発・製造を行うザクティの支援~

株式会社ザクティ 代表取締役会長 伊佐治岳生氏

アドバンテッジパートナーズ LLP ディレクター 村上大輔氏

聞き手: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

大手電機メーカーを筆頭に日本の製造業は厳しい事業運営が続いている中、早くから海外製造拠点を活用し、一時はデジタルカメラの生産台数ベースで世界シェア 3 割を誇ったザクティも、類に漏れず厳しい事業環境下で経営されてきた。一昨年 4 月の親会社からの独立を契機に自立した事業運営が可能となり、初年度での黒字転換を達成した。企業の変革をリードするチェンジエージェントとしてプライベート・エクイティ・ファンドが如何に機能し、本社がある大阪、工場があるインドネシアそれぞれの現場において課題解決に取り組んでいるのか、具体的な支援の一端を紹介する。

**事例紹介②インタビュー・セッション (15:10-15:55)**

テーマ: 広島から世界へ! 地域ファンドによる中小企業支援の取り組み

~非接触検査装置のオー・エイチ・ティー、薄膜センサーのサンエー~

オー・エイチ・ティー株式会社 代表取締役社長 羽森寛氏

株式会社サンエー 代表取締役社長 山岸喜代志氏

株式会社ひろしまイノベーション推進機構 代表取締役専務 高橋信之氏

聞き手 フェニックス・キャピタル株式会社 取締役 珍部千裕氏

<概要>

広島には、ものづくりの伝統から、先端的な技術を梃に世界に挑戦する中小企業が数多く存在する。しかしながら、人材やネットワークなど経営リソースの制約から、その潜在力を活かさきれず、海外展開など大胆な施策に踏み出せないでいる例も見受けられる。地域の官民ファンドには、成長資金の供給のみならず、そうした挑戦や変革を地元企業に寄り添いつつ後押しする役割が求められている。本セッションでは、フラットパネルの非接触検査装置のオンリーワンであるオー・エイチ・ティー(福山市)と品質センサー技術で地球環境改善に貢献するサンエー(三次市)のグローバル競争への挑戦の事例とともに、地域ファンドによる企業支援の取り組みを紹介する。

コーヒープレイク (15:55-16:15)

**パネルディスカッション (16:15-17:15)**

テーマ: 日本の中堅・中小企業の新しいステージへの飛躍に向けて ~ファンドを活用した企業価値向上戦略~

フェニックス・キャピタル株式会社 シニアマネージャー 竹中幹雄氏

株式会社ひろしまイノベーション推進機構 代表取締役社長 尾崎清氏 (元マツダ代表取締役副社長兼 CFO)

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 ジェネラル・マネージャー 秋光伸二郎氏

司会者 株式会社 KPMG FAS 執行役員 パートナー 岡田光氏

<概要>

近年、事業再編やオーナー企業の事業承継にバイアウト・ファンドが活用されるケース、ファンドより成長資金を調達して設備投資や海外展開を強化するケース、再生ファンドの支援のもとで抜本的な経営改革を行うケースなどのように、中堅・中小企業のファンド活用事例が増えている。本セッションでは、花菱縫製(紳士服・オーダーシャツの製造)、アイサービス(食事サービスの受託運営、冷凍・冷蔵食材の製造)、キューサイ(健康食品の製造)、クリーンサアフェイス技術(マスクブランクの製造)などの事例を取り上げながら、中堅・中小企業におけるファンド活用の意義などについての討論を行う。

**クロージング・スピーチ (17:15-17:30)**

テーマ: M&A/バイアウトの手法の多様化と法務の視点

森・濱田松本法律事務所 弁護士 林浩美氏

森・濱田松本法律事務所 大阪オフィス 弁護士 林宏和氏

\*本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。